

突哨山で春の植生調査を行います

むかしから様々な利用をされてきた突哨山では、場所によって生えている木や草が違います。

突哨山運営協議会では、これから先の「保全」を考えていく上で重要な8つのプロットを設置しました。

植生調査は3年おき（第1回目は2009年）で、春、初夏、夏、秋と4回行います。また、春はカタクリ群落で有名な突哨山ですが、クマイザサの勢力が拡大していることもあり、今後のカタクリ群落に影響を及ぼす可能性もでてきました。

こうしたこともあり、「ササとカタクリの関係」について考えるプロットも同時に調査します。

講師は、旭川帰化植物研究会・突哨山野の花グループの塩田惇さんです。

日 時： 2012年5月14日（月曜日）
午前9時～午後4時予定（小雨決行）
※お昼は山の中でとります。

内 容：全9つのプロットで木本、草本の種名、被度、群度、高さの測定をします。
種の同定は主に講師が行い、参加者はプロット内のその他の測定、記録を行います。
往復3kmほど歩きます。

集 合 場 所：カタクリ広場（東鷹栖3線20号付近、旭川刑務所裏）

定 員：10名

参 加 費：無料

持 ち 物：長袖、長ズボン（ササやぶに入る場合があります）、飲み物、昼食、
図鑑（お昼休みに勉強できるかもしれません）

★お申し込み・問い合わせ★

もりねっと北海道

電話・FAX 0166-76-2006 清水

午前9時から午後5時まで。締め切りは5月11日。



お名前（年齢）

ご参加全員

住所：

電話番号：